

ミニギャラリー

今月の題字



熊野高校 3年 田村 真奈花 さん



熊野高校 3年 石井 まるみ さん



【評】マウスシールドをつけた空想上の白猫が雑巾のマントをなびかせてCOVID-19に立ち向います。その姿は大切なものを失った怒りや悲しみ、医療現場で戦っている人々を思い起こさせます。広島県高等学校デザインコンクール美術連盟賞

熊野高校 1年 田村 有莉咲 さん

建廠塵門閣海泄泄恒漂苦浪亦有寶經
浮說錦籍寓詞駕鳳井雲騰龍棲月跡均
轉縷空溺志於邪山事比繫繩詎知方於
覺路執若訓昭金口道秘瓊箱

【評】令和2年度広島県高等学校総合文化祭書道展において、最優秀賞となった作品です。『第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会書道部門』に出品されます。シャープな起筆と澄んだ線質で爽やかな楷書が表現されています。

熊野の自然 (378)
ヨモギ (キク科)



早春、他の草に先駆けて白い毛を被った若葉を広げる蓬。香り高く、栄養豊富なヨモギ餅になります。茹でて水に晒し、和え物や汁の実など。生で天ぷら。春の若葉が最上ですが、茎の先の若い葉も使えます。葉は互生。羽状に深く裂け、ふつう基部の両側に小裂片があります。葉の裏は綿毛が密生し、灰白色です。灸に使う艾は、葉を乾燥した後、葉裏の綿毛だけを集めたものです。葉を乾燥し煎じて飲むと、胃炎、貧血、風邪などに効きます。カヤで指を切った時、葉を揉んだ汁で止血をしました。芳香のある草は邪鬼を払う力があると信じられ、端午の節句には束ねて屋根に上げ、無病息災を祈ったり、ヨモギ湯にしたりしました。北海道を除く日本全土に分布する多年草で、ごく普通に見られます。高さ50〜120cm。地下茎を伸ばし分枝して新株を作り群生します。花期は9〜10月。茎の上方に大きな円錐花序を作り、多数の小さな頭花を付けます。小花は全て筒状花で、花弁状の舌状花はなく地味な花です。虫ではなく風に花粉を運ばせる風媒花なので、頭花を下向きに付けて花粉を散り易くしています。ヨモギ属は、虫媒花のキク属が、虫の少ない乾燥地帯に進出し、風媒花に進化したと考えられています。

【写真・文】
緑花文化士 富沢由美子

筆の駅ミニギャラリー

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3月4日(木)から予定していました次の展示は1年間延期となりました。

●平井弘光と絵の仲間展 (油絵・水彩画)

矢野在住の平井弘光さんは絵画を65才で始め2017年東光展中国新聞社賞などの受賞をされ、今は自宅で絵画教室も主宰されています。



なお、ミニギャラリーは通常どおり開館しています。

熊野町観光案内所「筆の駅」
熊野町出来庭10・6・24
問855-11123 (いいふみ)
開10時〜16時
(各展示の最終日は15時閉場)
休水曜日・第3日曜日
※無料
※ギャラリーのご利用については、お問い合わせください。

熊野町公式アカウント facebook

熊野町観光大使ふでりん 公式アカウント facebook

熊野町観光大使ふでりん LINE

熊野町観光大使ふでりん LINE

防災無線放送再生ダイヤル 082-820-5640 (放送終了後24時間自動消法)